

## 令和2年3月 薬事委員会結果報告

### 1. 新規採用医薬品(7品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類	備考
1	バラシクロビル顆粒50%「明治」	後	バラシクロビル	Meiji Seika ファルマ	500mg/g	¥197.70	抗ウイルス化学療法剤	先発:バルトレックス顆粒50%
2	ワルファリンK細粒0.2%「YD」	後	ワルファリン	陽進堂	2mg/g	¥7.80	抗凝血剤	
3	センノシド顆粒8%「EMEC」	後	センノシド	日医工	80mg/g	¥12.60	植物性緩下剤	
4	カラミンローション	—	カラミン・酸化亜鉛	丸石	10mL	¥14.20	皮膚収斂・保護剤	
5	ラグノスNF経口ゼリー分包12g	後	ラクツロース	三和化学	1包(12g)	¥45.50	生理的腸管機能改善剤・ 高アンモニア血症用剤	NFのみ慢性便秘症の適応あり、 ラクノスゼリー分包16.15g(販売中止)より切替
6	ユビデカレノン顆粒1%「ツルハラ」	後	ユビデカレノン	鶴原	10mg/g	¥6.40	代謝性強心剤	ノイキノン顆粒1%(¥15.60)販売中止より切替
7	デキサメタゾン口腔用軟膏0.1%「NK」2g	後	デキサメタゾン	日本化薬	2g/本	¥102.00	口腔粘膜疾患治療剤	デキサルチン口腔用軟膏1mg/gの名称変更、 5g/本(¥255.00)より規格変更

後:加算などの算定対象となる後発医薬品(ジェネリック医薬品) **先**:後発品が存在する先発医薬品 先:後発品が存在しない先発医薬品(算定にかかるシェア換算の対象外)

### 2. 規格変更医薬品(1品目)

No	医薬品名	区分	一般名	薬効分類	変更	備考
1	ユベラ軟膏	—	トコフェロール・ビタミンA油	外用ビタミンE・A剤	500g瓶 ⇒ 56g(アルミニウムラミネートチューブ)×5本入	冷所保存

### 3. 販売中止(経過措置品目)医薬品について(8品目)

No	販売中止医薬品	区分	経過措置 満了日	一般名	薬効分類	代替医薬品	備考
1	ラグノスゼリー分包16.15g	後	2021.3	ラクツロース	高アンモニア血症用剤・ 生理的腸管機能改善剤	ラグノスNF経口ゼリー分包12g	NFのみ慢性便秘症の適応あり
2	ノイキノン顆粒1%	<b>先</b>		ユビデカレノン	代謝性強心剤	ユビデカレノン顆粒1%「ツルハラ」	
3	ムコサルールLカプセル45mg	<b>先</b>		アンブロキシール	徐放性気道潤滑去痰剤	ムコソルバンL錠45mg ・ムコソレートLカプセル45mg	
4	インタール点眼液2%	<b>先</b>		クロモグリク酸Na	アレルギー性結膜炎治療剤	クロモグリク酸Na点眼液2%	
5	インタール点鼻液2%	<b>先</b>			アレルギー性鼻炎治療剤	クロモグリク酸Na点鼻液2%	
6	インタール細粒10%	<b>先</b>			食物アレルギー治療剤	クロモグリク酸Na細粒小児用10%	
7	エホチール錠5mg	—		エチレフリン	昇圧剤	同効薬:トリジン錠・D錠	
8	バルコーゼ顆粒75%	—		カルメロース	膨張性下剤	—	

4. 医薬品情報室より

重要な添付文書改訂について：DSU(医薬品安全対策情報) No.286(2020.2)

医薬品一般名	レボドパ・カルビドパ水和物		116 抗パーキンソン剤
改訂箇所	改定内容		
「重要な基本的注意」	一部改訂	レボドパ又はドパミン受容体作動薬を投与された患者において、病的賭博(個人的生活の崩壊等の社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、持続的にギャンブルを繰り返す状態)、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食等の衝動制御障害が報告されている。また、レボドパを投与された患者において、衝動制御障害に加えてレボドパを必要量を超えて求めるドパミン調節障害症候群が報告されている。患者及び家族等にこれらの症状について説明し、これらの症状が発現した場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:ネオドパストン配合錠L、メネシット配合錠

医薬品一般名	レボドパ・カルビドパ水和物・エンタカポン		116 抗パーキンソン剤
改訂箇所	改定内容		
「重要な基本的注意」	一部改訂	レボドパ又はドパミン受容体作動薬を投与された患者において、病的賭博(個人的生活の崩壊等の社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、持続的にギャンブルを繰り返す状態)、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食等の衝動制御障害が報告されている。また、レボドパを投与された患者において、衝動制御障害に加えてレボドパを必要量を超えて求めるドパミン調節障害症候群が報告されている。患者及び家族等にこれらの症状について説明し、これらの症状が発現した場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:スタレボ配合錠

医薬品一般名	レボドパ・ベンセラジド塩酸塩		116 抗パーキンソン剤
改訂箇所	改定内容		
「重要な基本的注意」	一部改訂	レボドパ又はドパミン受容体作動薬を投与された患者において、病的賭博(個人的生活の崩壊等の社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、持続的にギャンブルを繰り返す状態)、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食等の衝動制御障害が報告されている。また、レボドパを投与された患者において、衝動制御障害に加えてレボドパを必要量を超えて求めるドパミン調節障害症候群が報告されている。患者及び家族等にこれらの症状について説明し、これらの症状が発現した場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:マドパー配合錠

医薬品一般名	オルメサルタンメドキシミル		214 血圧降下剤
改訂箇所	新様式		
改訂箇所	改定内容		
[11.1重大な副作用]	追記	11.1.11 間質性肺炎 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常等を伴う間質性肺炎があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:オルメテックOD錠

医薬品一般名	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン		214 血圧降下剤
--------	-----------------------	--	-----------

		新様式
改訂箇所		改定内容
[11.1重大な副作用]	追記	11.1.12 間質性肺炎 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常等を伴う間質性肺炎があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

<院外>レザルタス配合錠LD・HD

医薬品一般名	イブラグリフロジンL-プロリン	396 糖尿病用剤
		新様式
改訂箇所		改定内容
[11.1重大な副作用]	追記	11.1.5 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明)

<院外>採用医薬品:スーグラ錠

## 5. その他

①フィコンパ錠(ベランパネル水和物)の適応追加について

- ・成人及び4歳以上の小児のてんかん患者における部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する**単剤療法**
- ・4歳以上12歳未満の小児のてんかん患者における部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する併用療法

②メイスパン配合軟膏の自主回収について:2020年1月

成分の一部である精製白糖の分解により含量が規格を下回り、有効期間3年を保証できない可能性のあるロットの判明により自主回収あり